伐らないなんて、もったいない。

天竜美林の未来のために。

天竜美林は、宝の山だ。

「山は畑で、すぎ」「天竜のある林業家は言いました。浜松の森林は、そのほとんどがスギの苗で植えられた人工林です。スギ、ヒノキを植え、育て、伐採し、森林を造り出荷する。そして育てた森林を、また伐採し出荷する。その繰り返しを、次に育てる森林作物の収穫と捉えられれば、次に育てを捉えることができなくなる。やがて人の手が入らなくなり、荒れた相になる。これは森林を出荷する行付けなく、そこに関わる人たち等暮らしを脅かす生物性や二酸化炭素の吸収、治山や水などの国土保全そして伝統言語でもその原況私たちに安心を提供を与えてくれます。そんな宝のような森林が荒れてしまうのは、森林の保護は国土の保全、治山、水源の確保、生物多様性の保全、二酸化炭素の吸収、伝統文化の継承などの多面的な役割を担っています。

まず、豊富な木材資源を活用した天竜川という水運路に恵まれ、江戸時代には大量の天竜材を江戸を中心に供給。しかし、明治を迎える頃には過度な伐採で天竜の森林の多くがはげ山となり、大雨の度に天竜川の氾濫や土砂の流出が大きな問題となっていました。

そこで、天竜美林は、人工林として管理され、天竜川の氾濫や土砂の流出が抑制されたのです。

そして、天竜美林は、日本三大人工美林のひとつ「天竜美林」と称されるようになり、そして、下流の環境への影響も配慮し、伐採と植林が計画的に行われてきた天竜美林は、林業関係者や行政の協力のもと、2010年に国際的な認証制度底であるFSC、森林認証を取得。現在では市内森林の約5割がFSC認証を取得。

現在、天竜美林には主に原産地樹50～60年のスギ、ヒノキが多くあり、この天竜美林の間伐に使うことが最全な森林の間伐に必要です。伐らないことで天竜美林が持つ価値を失うのはもったいない。更に言うなれば日本の未来、次世代に豊かな森林をつなげていくためにも、私たちはまずここにある未来を信じ、使っていくことが重要なのです。

※1 静岡三次人工美林／静岡県天竜地域、三重県尾鷲地域、奈良県吉野地域 ※2 浜松市の面積は=1,65,908ha、うち森林面積=102,405ha、人工林面積(国有林を除く)=62,237ha(データは浜松市林業振興課資料による)

FSC
www.fsc.org
FSC® C007380

責任ある森林管理
のマーク

FSC®とは"Forest Stewardship Council"の略称で、適切な森林管理を目指す国際組織の略称。

Used in Village Plaza

天竜材後利用デザインコンペ

【パブリック部門】【ノベルティ部門】

募集締切 令和3年9月10日(必着)

最優秀賞
(各部門1点)
図書カード
3万円

選手村ビレッジプラザでの役目を終えて
浜松市に帰ってくる天竜材を
有効に後利用するためのデザインを募集します。

パブリック部門	市所管施設に設置し、来訪者が利用しリ用時間のもちっとリラックスできるもの等	ノベルティ部門	ビレッジを「ひと」で賑わせ、記念でさまざまに活用できるもの等

応募要領や詳しい応募方法等は"天竜材後利用デザインコンペ"で検索または左記のコードからアクセス！ 天竜材後利用デザインコンペ 検索

応募先・問合せ先:浜松市産業部林業振興課
〒430-8652 浜松市中区元城町103-2 TEL:053-457-2159 E-mail:ringyou@city.hamamatsu.shizuoka.jp
主催:浜松市 共催:浜松地域FSC-CLT研究所/産業技術センター/一般社団法人浜松地域材利用促進協議会/天竜材材業振興協議会